資料５

滝川市 B&G 海洋センター（B&G あそリバ）

運営状況中間報告（８月末現在）

１．総括（運営状況）

令和８年５月９日（土）の開館以来、初の夏休み期間（７月から８月）を経て、８月末現在の累計利用者数は「42,863 人」に達した。

これは当初の想定（年間想定目標：45,000 人）を大幅に上回る非常に速いペースでの推移であり、利用者層についても、市民のみならず、空知管内、さらには旭川圏・札幌圏などの広域から、幼児から大人まで多様な来場者を呼び込んでおり、地域活性化および広域利用の拠点として順調な滑り出しを見せている。

２．８月末現在の利用実績（数値データ）

５月９日（土）の開館から８月 31 日（月）までの４ヵ月における、各エリア・イベント等における利用内訳、施設稼働日数は以下のとおりとなる。

※なお、９月以降も順調に推移しており、９月単月の利用者は 10,715 人、９月 30 日現在の開館以来累計利用者数は 53,578 人となっている。

区分（エリア・事業）	５月	６月	７月	８月	４カ月累計
キッズラボ（STEAM 教育・工作）	3,772	2,824	3,672	4,085	14,353 人
キッズジム（水上体験・団体等）	1,359	3,789	4,834	2,501	12,483 人
キッズパーク（屋外広場等）	3,716	2,758	3,574	4,670	14,718 人
オープニング等イベント・その他	471	0	157	681	1,309 人
月間総利用者数	**9,318**	**9,371**	**12,237**	**11,937**	**42,863 人**
稼働日数	20 日間	25 日間	27 日間	25 日間	97 日間

３．主な実施事業の成果

地域活性化起業人等の民間知見や公益財団法人 B&G 財団、一般財団法人滝川市スポーツ協会との連携を活かし、各エリアにおいて「学びと身体の連動」を意識した多様な事業を展開した。

（１）キッズラボ【ものづくりエリア・試工作庫（デジタル加工室）・チャレンジエリア・スタジオラボ）

旧こども科学館（プレ事業「ミラーボ」）の機能を引き継ぎ、ものづくりや科学、学びに親しむ機会及び常設・定期的に事業実施した。

①工作体験教室（各回定員６名・予約制）

- ５月：段ボールでヘリコプターを作ろう！（5/16・5/23・5/31）
- ６月：身近なモノでかんらんしゃを作ろう！（6/6・6/13・6/20・6/27）
- ７月 段ボールでプテラノドンを復活させよう！（7/4・7/11・7/18・7/25）
- ８月 身近なモノでメリーゴーランドを作ろう！（8/8・8/15・8/23・8/29）

②ナーディーダービー王（自作したミニチュアカーを用いたレース／各回先着 45 名）
・5月　9日（土）第1回ナーディーダービー王
・6月 28 日（日）第2回ナーディーダービー王
・7月 20 日（月）第3回ナーディーダービー王
・8月 22 日（土）第4回ナーディーダービー王
③サイエンスショー（定期開催）
・5月（5/17・5/24 開催）
・6月（6/7・6/14・6/21・6/28 開催）
・7月（7/12・7/26 開催）
・8月（8/9・8/23 開催）
④B&G あそリバ七タプロジェクト（7/7～8/7）
⑤B&G あそリバ夏休みイベント（8/1～8/2）【シャボン玉ロッド作り・3D お宝すくい！・あそリバ射的・サンダルデコアクセサリー作り・ナーディーダービーゾロ目チャレンジ】

（2）キッズジム（水上アクティビティ）
①パルクール体験会（5/9）
②ニュースポーツ体験会（5/9）
③指定管理者の一般財団法人滝川市スポーツ協会にて、市内外の小中学校及び一般団体の団体受入れや一般利用者のカヌー体験を実施した。

（3）キッズパーク（屋外遊具広場）
①マリンスポーツフェスティバル 2026 連携事業（7/20）【パワーパドラー体験会】
②B&G あそリバ夏休みイベント（8/1～2）【水鉄砲 de バトル・パワーパドラー・あそリバからの挑戦状（謎解き）】
③B&G あそリバ「第1回パルクールワークショップ」（8/30）

4．今後の対応

キッズジム（カヌー等の水上アクティビティ）は 10 月 10 日（土）をもって今年度の営業を終了する。また、キッズパークは敷地内の芝種子吹付作業を実施するため、10 月 21 日（水）をもって今年度の利用を終了する。

冬期間においては、以下の対応により「通年型施設」の利点を最大限に活かした施設運営を行う。

①キッズラボにて、デジタルコンテンツの活用やものづくり、遊びながら学ぶ体験を通して施設運営を行なう。

②屋内アスレチック遊具の新設（冬期の体力向上）として、1 階エントランスに既存のボルダリングとあわせて「スーパーアスレチック」を新たに設置した。
これにより、積雪期で屋外活動が制限される冬期間であっても、子どもたちが「身体を動かす」「遊びながら学ぶ」を体感できる環境を確保し、施設運営を行なう。